

指導者のマナー及び帯同審判の取り組み姿勢に対する注意喚起

平素は福山ミニバスケットボール連盟の活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。ミニバスケットボールの活動は保護者の方々はもちろんですが、指導者・審判員の方々のおかげで成り立っております。ミニバスケットボールは「友情・ほほえみ・フェアプレー」を基本方針として子供たちの健全な育成を目的に活動しています。それに基づいて指導者の方々にも体罰や暴言の根絶を求め、またマナーの向上を求めています。まずはこうしたミニバスケットボールの方針をご理解いただきたいと思います。

しかしながら今年度は特に指導者のベンチでのマナーや帯同審判の態度が問題視されるケースが増えております。例えば夏の県大会においても指導者がベンチにて審判に過度なクレームを言ったり、選手に対して必要以上の暴言を発したりする場面が多くみられ、実際に試合終了後県連盟より直接注意を受けたチーム・指導者がありました。またカップ戦ではありますが、地区協会主催の公式戦できちんとした身なりで審判をせず、大会の品位を下げた公認審判員がいたという報告も受けています。カップ戦といえども他地区あるいは他県の大会等に参加する場合には参加届を連盟に提出していただいています。これは福山地区のチームとして、あるいは広島県のチームとしてその行動に責任を持っていただき、各大会の主催者あるいはそのチームにご迷惑がかからないようにすることを目的にしています。カップ戦やミニ連の公式戦以外の大会におきましても、ミニバスケットボールのチームでありその指導者あるいはその帯同審判である以上はこうした問題視されるような行動は厳に慎んでいただきたいと思います。

直近には **FEK** 杯地区秋季大会があります。また11月には全国大会中国大会の地区予選および県予選が開催されます。子供たち選手には責任はありませんが、指導者には責任を取っていただくことは当然あります。またあまりにも常軌を逸した状況が起これば、チームとして責任を取っていただくことも検討せざるを得ません。こうしたことが起こらないように、各チームとも指導者・帯同審判の言動には十分注意していただくをお願いいたします。子供たち選手が主役です。大人がそれに水を差すことなく、選手が力を発揮できるように大会運営をしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくをお願いいたします。

福山ミニバスケットボール連盟 理事長 平田州正